

内藤記念館再整備事業 外構工事の概要

内藤記念館が再整備される場所は、延岡城西ノ丸跡であり、また廃藩置県後も延岡藩最後の藩主内藤家の邸宅跡にあたります。そのため外構工事は、延岡城の一角であったことや、藩主の邸宅が置かれていたことを後世の市民に伝えるという視点を踏まえて、整備を進めているところです。

新たに建設する新施設は、『延岡の歴史を学び継承し、未来を創造する拠点』をコンセプトに、美術館機能を備えた歴史民俗博物館として、文化庁長官の承認を受けた「公開承認施設」を目指し事業を進めており、令和 2 年度中に本館が完成する予定です。

令和 3 年度から着手する外構工事では、城下町延岡を感じられ、また和の空間を感じられるよう、和室棟や敷地西側駐車場に白壁や冠木門^{かぶきもん}を整備し、戦後残った蔵の活用も図ります。また、近代に改修された敷地への入口階段や戦後残った門を活かしながらも、幅広い年代層の方の利便性を考慮し、また多くの方に安心して来場していただけるように、屋外エレベーターを設置します。

1. 場 所

延岡市天神小路 255 番地 1 (現地建替え)

2. 建設規模

構造/規模：和室棟/木造 平屋建て (延べ床面積 191.84 m²)

蔵改装/鉄筋コンクリート 1 階部分 (床面積 21.45 m²)

屋外エレベーター/13 人乗り

3. 外構工事の整備方針

内藤記念館が再整備される場所は、かつての延岡城西ノ丸であり、藩主の邸宅跡であったことを踏まえ、外構工事の整備方針を次に掲げるとおりとします。

- (1) 城下町延岡や和を感じられる空間の整備
- (2) 地域や世代を超えた交流の場の整備
- (3) 文化活動や交流活動を促進する場の整備
- (4) 人に優しい利便性の高い施設の整備
- (5) 情報発信したくなるスポットの整備
- (6) 延岡市産材を使用し、暖かみのある施設の整備

4. 諸室等の概要

内藤記念館が再整備される場所は、かつての延岡城西ノ丸であり、藩主の邸宅跡であったことを踏まえ、和室棟と外構を次のとおり整備します。

①和室棟

かつての延岡城西ノ丸であり、藩主の邸宅跡であったことを踏まえ、

○城下町延岡や和を感じられる空間を創出するため、パース図のP5のとおり整備します。

○市民の皆様に多様な文化活動・交流拠点となる場、そして日本庭園と一体となる整備を行い、憩いの場を提供します。

○敷地東側の立木を整理し城山（延岡城跡）への展望を確保します。

○延岡市産材を使用し、暖かみのある施設を建築します。

②外構等

○亀井神社へ続く遊歩道については、かつてこの場所が延岡城西ノ丸であったことを踏まえた外観の白壁や門、蔵を活用した休憩所等を設置します。また、カナルチャープラザとの間にある「ふくろう広場」の一角に白壁を設置し、敷地の内外において城下町の雰囲気演出します。

○幅広い年代層の方の利便性を考慮し、また多くの方に安心して来場していただけるように、屋外エレベーターを設置します。また、スロープ等を設置し、敷地内のバリアフリーに配慮します。

○既存の植栽を活かし、格式ある「日本庭園」を再整備し、本館や和室棟から風景を楽しめるようにします。

5. 外構工事費試算（概算）

和室棟工事費	94,200 千円
庭園・駐車場等工事費	272,190 千円
屋外エレベーター工事費	90,000 千円
工事監理費	45,000 千円
<hr/>	
	501,390 千円

この財源については、元利償還の際に国の財政支援が得られる、地域活性化事業債を約 451,200 千円、また、森林環境譲与税を約 5,180 千円の計 456,382 千円を活用する予定です。

6. 和室棟・外構施設管理経費試算（概算）

（1）年間経費

① 固定経費

水道光熱費 1,200 千円（電気・水道）

※各部屋設置の冷暖房機につきましては、コイン式の機器を考えています。

（2）和室棟の利用料金

和室棟の利用料金につきましては、後日、条例で定めます。

（3）将来、老朽化等により必要とされる改修費（ライフサイクルコスト）

和室棟空調設備改修	5,000 千円	（15 年後を目途に改修）
屋外エレベーター改修	8,000 千円	（15 年後 " ）
和室棟屋根改修	8,000 千円	（20 年後 " ）
和室棟外壁改修	6,000 千円	（20 年後 " ）

※本資料の金額等は全て現時点での試算であり、今後、詳細に検討するものです。